

記載上の注意

有効期間の延長申請書

和暦で記載願います。 ☐

年 月 日

教育委員会から問い合わせがある場合の連絡先を記載願います。

延期事由のなくなった日から2年2ヶ月以内の日、最新の免許状授与の日の翌日から起算して10年以内の日等延期後の修了確認期限を記載ください。(補足参照)

休職中の期間や在外教育施設派遣中の期間、免許状授与の翌日から１０年間など延期事由の生じている期間を記載してください。（補足参照）

3 延期前の修了確認期限： 年 月 日 延期前の修了確認期限を記載願います。

年 月 日

校長、教育委員会等の記名・押印が必要です。

印

備考 願出者が氏名を自署する場合には、押印を省略することができます。

補足 主たるケースごとに申請書に記載する期日について

それぞれのケース	申請書に記載する期日	
	1 延期事由 (○年○月○日～ ○年○月○日)	○年○月○日まで修了確認 期限の延期を受けることを 申請します。
病気休暇 産前及び産後の休業 育児休業 介護休業 の期間中	辞令にあるそれぞれの休業 の期間に基づく	辞令にある期間の終わりの 日から2年2ヶ月以内
	平成30年10月7日～ <u>令和1年10月6日</u>	<u>令和3年12月6日</u> までの任意の日とすること
海外在学教育施設等におい て教育に従事している	辞令にある海外派遣の期間 に基づく	辞令にある期間の終わりの 日から2年2ヶ月以内
	平成30年4月1日～ <u>令和2年3月31日</u>	<u>令和4年5月31日</u> までの任意の日とすること
専修免許状の取得のために 大学院の課程に在籍してい る(科目等履修生は除く)	辞令にある大学院研修等の 期間に基づく	辞令にある期間の終わりの 日から2年2ヶ月以内
	平成30年4月1日～ <u>令和2年3月31日</u>	<u>令和4年5月31日</u> までの任意の日とすること
教員となった日から修了確 認期限までの期間が2年2 ヶ月未満である	辞令にある教員となった日 に基づく	辞令にある教員となった日 から2年2ヵ月以内
	<u>令和2年4月1日</u> ※終わりの日は書かなくていい	<u>令和4年5月31日</u> までの任意の日とすること

「3 延期前の修了確認期限」については、申請時点での各自の修了確認期限を記入すること。